

[第 160 回藤樹人間学塾のご案内]

皆さま

2025 年 3 月



主 催 NPO法人高島藤樹会

- 日 時 2025 年 4 月 5 日 (土) 15時～17 時
- 場 所 高島市安曇川公民館(高島市安曇川町田中89) ☎0740-32-0003
- テーマ 「藤樹先生に学ぶ人間学」
テキスト 熊沢蕃山著・伊東多三郎現代文訳『集義和書』(中央公論社)p.213～
塾 長 田中 清行 (090-1026-7882)

2025 年 3 月 1 日(土)、安曇川公民館で第 159 回藤樹人間学塾を開きました。大津から 5 名を入れて 8 名(うち女性 4 名)の参加でした。

■ テキスト

『中江藤樹・熊沢蕃山』(中公バックス日本名著)

■ テキストの見出し

「集義和書」書簡の 3 釈迦は聖人か、貧は世界の福の神、を輪読し、資料も説明しました。

■ 配布資料

(1)「まなざし 478 号」、(2)出口治明『哲学と宗教全史』「ブツと大乘仏教」、(3)『山崎弁栄 光明主義講話』「無量光寺での講話」、等。

■ 今日のポイント

- ・ 釈迦は聖人か…(田中の資料を使った説明)2500 年前、釈迦は苦行の末、この世は、諸行無常(すべてのものは移り変わる)、一切皆苦(相手は自分の思うようにならない)、諸法無我(関係性がなければ自分は存在しない)であると悟った。諸法とは衆縁和合(すべての縁がバランスをとっている)のことである。相手を変えることはできないが自分を変えることはできる。自分が変われば相手も変わる。だから涅槃(安寧な境地)に至るためには、八正道(8 つの正しい考えと行い)を怠らず努めよと説いた。
- ・ 釈迦の没後 1000 年後に大乘仏教が現われ、中国、日本に広がった。大乘仏教では一切万物の産みの親(阿弥陀仏)が地上に釋迦如来を遣わしてその教えを広め人々を救うと教える。
- ・ 貧は世界の福の神…世の中の人が残らず富めば天地そのまま尽きてしまうでしょう。(…現代の地球はそれに近づきつつある) 貧しいと努力するが、生まれながら裕福だと努力しないのでやがて衰退する。(以下略)

■ フリートーク

- ・ 「大洲出身で中江藤樹の映画も見て大野了佐の話に感動した。大野了佐(尾関友庵)の子孫が宇和島で医者をしていると聞いた。今日は興味をもって初参加した」
- ・ 「息子のことで悩みがあるが、自分が変わらないといけないと思った」
- ・ 「夫に変わってほしいという気持ちがあるが、自分が変わらないといけないと思った」
- ・ 「年金相談を受けているといろいろなことを言われるが、この塾で学んでいると相手のことが理解できるようになってくるように思う」
- ・ 「自分が変わるということは、考え方を変えるということだと思ふ」

の意見をいただきました。ありがとうございます。

皆で学ぶと議論が深まります。学ぶは愉し！難しいところも資料を用意して分かりやすく解説します。人間学に関心のある方はどうぞご参加ください。

